

語いと英語教育(17)

Teacher Talk (2)

- Teacher Talk と言語機能 -

1994年2月18日

東京都中学校英語教育研究会

研 究 部

目 次

． あいさつ	1
． 研究経過	2
． TEACHER TALK (2)	4
(1) 本年度の研究に至る過程	4
(2) 本年度の研究過程	4
(3) 機能別発話分析グラフ	7
(4) Teacher Talk 分析	9
(5) Teaching Plans	12
(6) Teacher Talk と言語機能	24
(7) Teacher Talk の一例 (全文掲載)	26
(8) 今後の課題	50
． 参考文献	5 1
． 編集後記	5 2

. あいさつ

語いと英語教育（第17集）の発行にあたって

東京都中学校英語教育研究会 会長 今本 三郎

東京都中学校英語教育研究会（中英研）の研究部が平成5年度一年間の研究実践の成果をまとめ、ここに「語いと英語教育」（第17集）を発表するにあたり、研究部の先生方のご尽力と、ご苦勞にたいして心から敬意を表し、厚くお礼申し上げます。

さて、英語教育は今大きな変革を求められていると言えます。その一つは、ますます進展していく国際化に対応し、その国際社会の中で生きるために必要な資質である「積極的に自己表現しようとする意欲と積極的に相手を理解しようとする意欲、すなわち積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力・態度を育てる英語教育」への変革であり、もう一つは生涯学習化社会に対応する「自分から積極的に英語を学んでいこうとする関心と意欲を育てる教育（自己教育力を育てる教育）」への変革であると言えます。新しい学力観による授業の構築も、観点別評価もこの線上にあります。多くの先生方がこの変革に正面から取り組み、授業や評価の活動に様々な実践を通し成果をあげられていることに敬意を表するとともに、その実践・研究の輪がますます広がっていくことを願っております。

私は望ましい授業というものは、生徒の実態を考慮した、教師の理念のある、社会の要請に応える授業であり、それに向かって試行錯誤しながら取り組んでいる授業であると思います。教師が一生懸命研究をし、工夫をし、熱意をもって授業に取り組めば必ず生徒はそれに応えてくれます。研究部の先生方の熱意ある研究実践と授業の成果はそれを立証してくれていると言っても過言ではないと思います。

「Teacher Talk を言語機能の様々な場面に応じて適切に使い、教師と生徒が相互にやりとりをする授業を日常的に作っていくことにより、コミュニケーション能力を高めることに役立つと思われる」と研究テーマ設定の理由にあげてありますが、まさしく、コミュニケーション能力と意欲を育てるための「新しい授業・望ましい授業」への熱意ある共同研究・共同実践であると言えます。そしてこれは連綿として受け継がれてきた研究部の研究実績の上に花開いたものとも言えます。是非、この成果を、一人でも多くの東京都中英研の先生方にご活用頂き、ご意見をお寄せ頂き、さらに東京都の中学校の英語教育に役立つものに育てて頂ければ幸いに存じます。

最後になりましたが、研究部長の長勝彦先生をはじめ研究部の先生方、今まで色々ご指導くださいました諸先輩、そして温かいご声援を送って下さいました皆様方の並々ならぬご尽力に対しまして、重ねて感謝申し上げます。

研究経過

東京都中学校英語教育研究会・研究部では、1976年（昭和51年）より下記のような研究を継続的に行ってきた。今年度の研究もこの延長線上にあるものである。

（ A = 日本人同志の Team Teaching B = 日本人と外国人との Team Teaching ）

1976（昭和51）年度 「英語教師のニードとその資料源」

研究授業者：森永 誠氏（北区立赤羽台中学校）

1977（昭和52）年度 「英語教師のニードとその資料源 その2」

「外来語と英語教育（1）」

- 小学校高学年教科書に現れた外来語リスト -

A 研究授業者：里見 光昭氏・宗政 剛郷氏（千代田区立麹町中学

校）

1978（昭和53）年度 「外来語と英語教育（2）」

- 中学校英語教科書に現れた外来語リスト -

研究授業者：野中 清氏（江東区立深川第二中学校）

1979（昭和54）年度 「外来語と英語教育（3）」

- 外来語の強勢付加によっておこる変化 -

A 研究授業者：萩野 浩氏・須田 昌義氏（千代田区立一橋中学校）

1980（昭和55）年度 「外来語と英語教育（4）」

- 英語の意味別頻度と外来語・英語の意味とのかさなり -

研究授業者：後関 正明氏（墨田区立両国中学校）

1981（昭和56）年度 「外来語と英語教育（5）」

- フォニックス（つづり字と発音のルール） -

研究授業者：小林 幸子氏（千代田区立錬成中学校）

1982（昭和57）年度 「外来語と英語教育（6）」

- 選定語いについて -

研究授業者：小西 照明氏（足立区立伊興中学校）

1983（昭和58）年度 「語いと英語教育（7）」

- 選定語い（2）・発表語い（1）・外来語と英語教育（7） -

研究授業者：長 勝彦氏（江東区立第三亀戸中学校）

1984（昭和59）年度 「語いと英語教育（8）」

- 発表語い（2） 1. 生徒の立場からみた 2. 教師の立場からみた
外来語と英語教育（8） -

研究授業者：蔦原 秀子氏（新宿区立西戸山中学校）

1985（昭和60）年度 「語いと英語教育（9）」

- 「英語基本語い1000語」と「補足460語・外来語（英語）400語」

Interim Report

「外来語と英語教育（9）」言葉遊びをとり入れての指導実践例 -

研究授業者：長 勝彦氏（墨田区立両国中学校）

1986（昭和61）年度 「語いと英語教育（10）」

- A. 英語・基本語い1000語・Appendices

B. 授業の中でどのように語いをふやすか

C. CLT（Communicative Language Teaching）について

1. CLT研究の必要性

2. CLTの共通特徴

3. 日本の教育現場における C L T の取扱い方
4. C L T に必要な諸要素
5. 教師の果たす役割と活動
6. 学習者理解 -

B 研究授業者：日臺 滋之氏・Ms. Yvonne Broekman (Australia)
(新宿区立牛込第三中学校)

1987 (昭和62)年度 「語いと英語教育(11)」

A. 基本語いの定着化

- 授業の中でどのように語彙をふやすか (Part 2) -
(Bingo Game , Guess Work , Pair Work & Skit を行って)

B. C L T (Communicative Language Teaching)

と C F (Communicative Functions) について

- 東京都公立中学校で使用されている 4 種類の教科書に現れる
Functions (言語機能) / Forms (言語形式) の学年別
Function List -

C. Assistant English Teaching に関するアンケート調査のまとめ

- AET 導入の年数・採用方法・派遣状況・派遣時数・その他 -

B 研究授業者：青木 弘子氏・Mr. Phillip Roberts (Australia)
(新宿区立牛込第三中学校)

1988 (昭和63)年度 「語いと英語教育(12)」

A. NHK ラジオ続基礎英語 (1986.4 ~ 1987.3) の dialogs に現れる
伝達機能とその言語形式

B. 日常の授業で活用できる伝達機能とその言語形式

- (1) 意志を伴う機能
- (2) 感情を伴う機能
- (3) 相手の行為に影響を与える機能
- (4) 挨拶等社交上の機能

B 研究授業者：福井 康真氏・Ms. Robarta Schudrick (U.S.A.)
(千代田区立九段中学校)

1989 (平成元年)年度 「語いと英語教育(13)」

C L T (Communicative Language Teaching) と

C F (Communicative Functions) について東京都公立中学校で

使用されている 4 種類の教科書に現れる Functions (言語機能) /

例文の List

A 研究授業者：鶴田 峰子氏・太郎良 博氏 (大田区立南六郷中学校)

1990 (平成2年)年度 「語いと英語教育(14)」

A. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式 (続)

- 実情報にかかわる機能 -

B. 東京都公立中学校における英語教育実態調査報告

A 研究授業者：山本 展子氏・Mr. Frank Berberich (江東区立深川第7中学校)

1991 (平成3年)年度 「語いと英語教育(15)」

日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式 (続々)

- 意志・感情にかかわる機能の言語形式の Register について -

研究授業者：二宮 正男氏 (狛江区立第1中学校)

1992 (平成4年)年度 「語いと英語教育(16)」

A. Teacher Talk (1)

B. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式

- 意志・感情にかかわる機能の言語形式の Register に対する Native Speaker の Comments -

研究授業者：北原 延晃氏 (杉並区立和田中学校)

1993 (平成5年)年度

第17回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会東京大会(第3分科会)

Teacher Talk (1)研究授業者：杉本 薫氏 (墨田区立両国中学校)

・ TEACHER TALK (2)

(1) 本年度の研究に至る過程

『語いと英語教育(10)』では今までの文法・構造中心の授業だけでは真の伝達能力の育成にはつながっていないという反省に立って Communicative Language Teaching を取り上げた。

『語いと英語教育(10)』～『語いと英語教育(14)』では Language Functions (言語機能)と Language Forms (言語形式)を調査・研究してきた。言語機能に応じていろいろな場面で適切な言語形式を用いて表現できることがコミュニケーション能力の育成につながると考えた。

『語いと英語教育(12)』と『語いと英語教育(14)』では Language Functions と Language Forms を日常の授業で活用できるように整理した。前者では意志・感情等にかかわる機能、後者では実情報にかかわる機能を取りあげ、各学年で使用可能な言語形式の recommended list を作成した。

『語いと英語教育(15)』では意志・感情等にかかわる機能(意志を伴う機能 感情を伴う機能 相手の行為に影響を与える機能 挨拶等社交上の機能)の言語形式の register (言語の使用域)についての調査・研究をした。Native speakers に対してアンケート調査を行い、それをもとに Formal, Neutral, Informal の list を作成した。

『語いと英語教育(16)』では、授業の各場面で、教師は生徒にどのような言葉を使っているのかを研究した。研究部員の授業を VTR に録画し、Teacher Talk に焦点を当てて表現を拾い出した。

(2) 本年度の研究過程

本年は Teacher Talk についての研究の2年目にあたる。

そこで、Teacher Talk の必要性、及び活用について検討を始めた。

授業者の Speaking ability を伸ばしたり、保持したりするのに役に立つ。

Listening に対する生徒の心理的な Barrier (障害)を取り除くのに役に立つ。

生徒の Listening ability を伸ばす。

語い数(特に受容語い)を増やしたり、教科書の新出単語などを先取りして input することができる。

1年間または3年間などの長期的な見通しを持って、意識的・段階的に input することができる。

日々の体験を通して cross-culture 的なことを理解させることができる。

昨年度は生徒を動かす機能（3.5:人にあることをする／しないように命じる／それに応える）のみをまとめたが、今年度は「語いと英語教育(15)」でまとめた意志・感情等に関わる機能（1:意志を伴う機能,2:感情を伴う機能,3:相手の行為に影響を与える機能、4:挨拶など社交上の機能）すべての Teacher Talk を集め、検討した。
以下の5つの授業のVTR録画から Teacher Talk に焦点を当て、表現を拾いだした。

授業者	学校名・学年 (研究会名)	授業日	授業形態及び主な言語活動
二宮 正男	狛江市立 狛江第一中 1年 (中英研研究部研究授業)	1992, 2,18	スキット作り～練習～発表 ビデオ再生による評価
北原 延晃	杉並区立 和田中 2年 (中英研研究部研究授業)	1993, 2,18	Listening, Reading を中心 の授業。
日台 滋之	杉並区立 中瀬中 3年 (杉並区立済美研究所 研究授業)	1993, 6,24	Team Teaching による 現在完了形の導入
杉本 薫	墨田区立両国中 1年 (関東甲信地区英語教育 研究協議会研究授業)	1993, 11,5	現在進行形を含むスキットの 練習
石井 亨	墨田区立錦糸中 1年 (関東甲信地区英語教育 研究協議会研究授業)	1993, 11,5	What の疑問文 Group Work

そして、それらを次のような4種類30項目に分類した。

1 **Expressing & finding out intellectual attitudes** 意志を伴う機能

- 1.1 expressing & asking for ideas, opinions, agreement or certainty
考え、意見、同意や確実性について述べる／たずねる
- 1.2 expressing & inquiring about intention or lack of intention
意志の有無を述べる／たずねる
- 1.3 expressing & inquiring about possibility or impossibility
可能性の有無をたずねる／述べる
- 1.4 expressing & inquiring about ability or inability
能力の有無を述べる／たずねる
- 1.5 expressing & inquiring about obligation or absence of obligation
義務の有無を述べる／たずねる
- 1.6 seeking, giving & withholding permission
許可を求める／与える／留保する
- 1.7 offering to do something & reacting to it
何かをするように申し出る／それに応える

1.8 offering something & reacting to it
何かを差し出す / それに応える

2 Expressing & finding out emotional attitudes 感情を伴う機能

- 2.1 expressing & inquiring about liking, disliking, interest or lack of interest 好き嫌い / 興味の有無について述べる / たずねる
- 2.2 expressing pleasure, displeasure, satisfaction or dissatisfaction 喜び / 不快 / 満足 / 不満足を述べる
- 2.3 expressing compliments, praises, approval, appreciation or admiration 賛辞 / 称賛 / 同意 / 理解 / 尊敬を述べる
- 2.4 expressing & inquiring about desire or lack of desire 希望の有無について述べる / たずねる
- 2.5 expressing & responding to apology 謝罪する / それに応える
- 2.6 expressing & responding to gratitude 感謝する / それに応える
- 2.7 expressing sympathy or carefulness 同情や心配を述べる
- 2.8 expressing feelings 気分を述べる
- 2.9 expressing anxiety 不安を述べる
- 2.10 expressing embarrassment 当惑を述べる
- 2.11 expressing surprise 驚きを述べる

3 Getting things done 相手の行為に影響を与える機能

- 3.1 making suggestions & reacting to it 提案をする / それに応える
- 3.2 requesting others to do or not to do something & reacting to it 人にあることをする / しないように依頼する / それに応える
- 3.3 inviting others to do something & reacting to it 人にあることをするように誘う / それに応える
- 3.4 advising others to do or not to do something & reacting to it 人にあることをする / しないように忠告する / それに応える
- 3.5 directing others to do or not to do something & reacting to it 人にあることをする / しないように命じる / それに応える

4 Socializing 挨拶など社交上の機能

- 4.1 greeting people あいさつ

- 4.2 leave taking 別れのあいさつ
- 4.3 introducing oneself & others 紹介
- 4.4 attracting attention 気を引く
- 4.5 congratulating 祝う
- 4.6 telephone formulas 電話の決まり文句

(3) 機能別発話分析グラフ

このグラフはデータ化の作業中のため、省略しています。ご了承下さい。

	北 原		日 台		杉 本		石 井		二 宮		合 計	
1.1	17	8.2%	19	4.7%	3	1.3%	0		2	2.2%	41	3.6%
1.2	16	7.7%	20	5.0%	8	3.3%	5	2.4%	5	5.4%	54	4.7%
1.5	1	0.5%	0		0		0		0		1	0.1%
1.6	14	6.7%	6	1.5%	7	2.9%	8	3.8%	0		35	3.0%
1.8	1	0.5%	2	0.5%	0		0		0		3	0.3%
2.1	1	0.5%	0		10	4.2%	5	2.4%	0		16	1.4%
2.2	1	0.5%	6	1.5%	5	2.1%	0		0		12	1.0%
2.3	27	3.0%	48	11.9	17	7.1%	9	4.3%	18	19.4	119	10.3
2.4	0		8	2.0%	0		15	7.2%	1	1.1%	24	2.1%
2.5	5	2.4%	8	2.0%	1	0.4%	2	1.0%	1	1.1%	17	1.5%
2.6	2	1.0%	16	4.0%	2	0.8%	2	1.0%	1	1.1%	23	2.0%
2.7	3	1.4%	1	0.2%	3	1.3%	1	0.5%	0		8	0.7%
2.8	1	0.5%	0		0		4	1.9%	0		5	0.4%
2.9	1	0.5%	0		0		0		0		1	0.1%
2.10	5	2.4%	4	1.0%	1	0.4%	0		0		10	0.9%
2.11	3	1.4%	1	0.2%	1	0.4%	1	0.5%	1	1.1%	7	0.6%
3.1	7	3.4%	9	2.2%	3	1.3%	0		4	4.3%	23	2.0%
3.2	3	1.4%	76	18.8	0		0		0		79	6.9%
3.3	4	1.9%	0		8	3.3%	5	2.4%	2	2.2%	19	1.7%
3.4	3	1.4%	4	1.0%	4	1.7%	5	2.4%	3	3.2%	19	1.7%
3.5	81	38.9	158	39.1	159	66.3	139	66.5	39	41.9	576	49.7
4.1	2	1.0%	5	1.2%	3	1.3%	4	1.9%	8	8.6%	22	1.9%
4.2	1	0.5%	3	0.7%	1	0.4%	2	1.0%	2	2.2%	9	0.8%
4.3	8	3.8%	10	2.5%	4	1.7%	0		4	4.3%	26	2.3%
4.5	1	0.5%	0		0		2	1.0%	2	2.2%	5	0.4%
合計	208		404		240		209		93		1154	

(4) Teacher Talk 分析

分析にあたって留意したこと

データ分析については集計の方法、分類の方法など試行錯誤をくり返すこととなったが、次のような点に特に留意して、分析を進めることとした。

- a. データ分析は「意思を伴う機能・感情を伴う機能・相手の行為に影響を与える機能・挨拶等社交上の機能」(5 ~ 7 ページ参照) をもとに行った。
- b. 分類を行うにあたり、明らかに生徒に対する指示・命令として使われている “ Let's ~ ” という表現は、本来 LANGUAGE FORM 上は [3.3 inviting others to do something & reacting to it (人にあることをするように誘う / それに応える)] に分類されるべきものだが、FUNCTION を優先して [3.5 directing others to do or not to do something & reacting to it (人にあることをする / しないように命じる / それに応える)] に分類 することとした。
- c. “ O.K. ” “ All right. ” “ (Are you) Ready ? ” についてはどの授業でもかなり多用されており、言語機能上は教師の指示や発言の「確認」を意図しているのだが、今回の分類表には該当するものが見当たらないため、分析の対象からはずした。
- d. 同じ発言 (同じ文) をくり返して続けて言っている場合は、1 回と数えた。
- e. 記録ビデオの録音音声の関係で、机間指導中個々の生徒に対して行った小さな声での発言は拾いきれていないものがある。
- f. 生徒の呼名のみはカウントしていない。

今回の調査における TEACHER TALK についての分析 (全体的な傾向として)

- a. 全体を通じて圧倒的に多いのが [3.5 directing others to do or not to do something & reacting to it (人にあることをする / しないように命じる / それに応える)] である。このことは一斉授業の中での生徒に対する指示・命令であるから当然の結果だろうが、頻度については授業形態・内容・指導段階などに深く関連があるであろうと推測できる。またこの機能は授業中生徒がもっとも頻繁に耳にしているという事実から、今後の研究の余地は大きいと思われる。
- b. 次に多いのは [2.3 expressing compliments, praises, approval, appreciation or admiration (賛辞 / 称賛 / 同意 / 理解 / 尊敬を述べる)] に分類された発話である。授業では、主に指導の結果に対する評価としてとらえることができる。生徒の意欲を引き出す大きな要因であることを考えると、頻度と表現の多様化については今後の重要な研究課題の一つである。
- c. その他のデータについては顕著な傾向は認められないが、授業によって [2.1 expressing & inquiring about liking, disliking, interest, or lack of interest (好き嫌い / 興味の有無について述べる / 尋ねる)] と [2.2 expressing pleasure, displeasure, satisfaction, or dissatisfaction (喜び / 不快 / 満足 / 不満足を述べる)] の 2 点が多くなっている。これは授業の内容・話題によって生徒との interaction の中で多用されているためである。

このように授業の形態、内容、話題、指導方法などにより TEACHER TALK を意識的に活用することも可能である。また、どの授業においても少ない機能については、それらの使用場面について、さらに深く研究する必要がある。

今回の調査における TEACHER TALK についての分析（個々の授業について）

授業 1（二宮... 1 年生 3 学期）

ゼロの機能数 1 1

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合 4 2 %

ほめ言葉 [2.3] の割合 2 0 %

- ・生徒の活動・作業が多い授業のため教師の発話数は少ない。
- ・生徒の発表の機会が多い授業なので [2.3 Expressing compliments, praises, approval, appreciation or admiration (賛辞 / 称賛 / 同意 / 理解 / 尊敬を述べる)] が多くなっている。

授業 2（北原... 2 年生 3 学期） p.24-p.49参照

ゼロの機能数 2

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合 3 9 %

ほめ言葉 [2.3] の割合 1 3 %

- ・ [1.6 seeking, giving, & withholding permission (許可を求める / 与える / 留保する)] が多いのは生徒の到達度に応じた課題を多く用意し、活動の幅を広げたためである。
- ・ [1.1 expressing & asking for ideas, opinions, agreement, or certainty (考え、意見、同意や確実性について述べる / 尋ねる) と [1.2 expressing & inquiring about intention or lack of intention (意思の有無を述べる / 尋ねる)] が多いのは生徒の活動する内容が多種にわたっているためである。

授業 3（日台... 3 年生 1 学期）

ゼロの機能数 7

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合 3 8 %

ほめ言葉 [2.3] の割合 1 2 %

- ・ A L T (Assistant language Teacher) との TEAM TEACHING であるため、発話数が非常に多くなっている。
- ・ [3.2 requesting others to do or not to do something & reacting to it (人にあることをする / しないように依頼する / それに応える)] および [2.6 expressing & responding gratitude (感謝する / それに応える)] の使用頻度高い。これは JTE と ALT との間で発せられたものであるが、生徒に聞かせるように意図されたものである。
- ・ [1.8 offering something & reacting to it (何かを差し出す / それに応える)] は頻度は低いですが、他の人にはない機能である。生徒へのプリント配布時に意図的に使うように工夫された結果、現れたものである。

授業 4 (杉本... 1年生 2学期)

ゼロの機能数 8

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合	66%
ほめ言葉 [2.3] の割合	7%

-
- ・ [2.1 expressing & inquiring about liking, disliking, interest, or lack of interest (好き嫌い / 興味の有無について述べる / 尋ねる)] が多いのは全体分析でも指摘した通り授業の内容・話題に深く関わっているためである。
 - ・ 一斉授業の形態がほとんどであるため、指示・命令の割合が高い。

授業 5 (石井... 1年生 2学期)

ゼロの機能数 10

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合	66%
ほめ言葉 [2.3] の割合	4%

-
- ・ [2.2 expressing pleasure, displeasure, satisfaction, or dissatisfaction (喜び / 不快 / 満足 / 不満足を述べる)] が多いのは全体分析でも指摘した通り授業の内容・話題に深く関わっているためである。
 - ・ 指示・命令の割合が高いのは、生徒の活動の段階を一つずつ区切りながら指導しているためである。

(5) TEACHING PLANS

授業 1 : 指導案

指導過程	学習内容	教師の働きかけ	生徒の活動	留意点
	映画鑑賞 "Black Rain"		映画を見て英語の 雰囲気にとほたる	英語の授業の 雰囲気をつくる
Warm up	あいさつ	英語であいさつを する 英語で簡単な会話を 生徒とかわす	英語であいさつを かわす	元気よくあいさつ をかわす
	カラオケ "Ob-La-Di, Ob- La-Da", or "Daydream Believer"	歌いたい英語の歌 を生徒に選ばせる 英語の歌をレーザ ーカラオケで歌う	英語の歌を選ぶ 顔を上げて画面を 歌う	大きな声で元気よ く歌う
8分	ピンゴゲーム (2回)	ゲームを行う	ゲームを楽しむ	集中して、楽しむ
復習	Oral Interac- tion	絵を使って質問を しながらスキットの 内容を確認する		集中して聞く
	内容理解の確認	英語で質問して正 しく理解したか確 認する	教師の質問に英語 で答える	積極的に手を挙げ て答える
2分		1. Which is Lucy's? 2. What's her name? 3. Whose cat is this?	1. The white cat is? 2. Her name is Kittie. 3. That is Lucy's sister's.	
展開	音読練習(T-P)	本を開けさせ、ス キットを通して読 む	本を見て、教師の 後に続いて読む	棒読みにならない ように
	役割練習(T-P)	教師が1つのパー ート、生徒がもう う1つのパートを 読む練習をする	教師のパートに応 じて自分のパート を読む	教師の台詞をよく 聞いて、暗記に終 わらないように。 会話になるように

	役割練習(P-P)	Eye Contact, Gesture 等のアド ヴァイスをする	ペア同士で会話の 練習をする	自分の台詞を言う ときは相手の顔を 見る
14分	スキット発表	評価する	前に出て来て、ス キットを実演する	お互い相手を見て 会話する
発展	Plus-One Dialog	Plus-One Dialog について説明指示 を与える	先に演じたスキッ トにもう1セリフ ずつ付け加えたス キットを作る	
	スキット練習	生徒の間を回って ペアにアドヴァイ スをする	自分たちの力で英 語を付け加えて、 スキットの練習を する	今までに習った表 現を広く利用する How old を使えば 高く評価する
18分	スキット発表	ビデオに録画する	前に出てきて、ス キットを実演する	お互い相手を見て 会話する
まとめ	スキット鑑賞と 評価	発表されたスキッ トをビデオで鑑賞 して、生徒に自己 評価させる	自分たちのスキッ トをビデオでみて 評価する	評価基準をはっき させる
		スキットの良かつ た点、改良点など について述べる	今回の経験を次回 生かす	失敗や改善点ばか りでなく、良かつ た点にも気付かせ る
8分	あいさつ	英語であいさつを する	英語であいさつを かわす	元気良くあいさつ

8. 評価

- (1)授業に楽しく参加できたか。
- (2)単なる教科書の暗記でなく、自分たちで適切な表現を付け加えてスキットを演ずることができたか。
- (3)友だちの前でスキットを演ずることができたか。
- (4)友だちの発表を見て、お互いに適切な評価ができたか。

授業 2 : 指導案

Teaching Plan of English

Wada Junior High School, Suginami Ward, Tokyo

Instructor : Nobuaki Kitahara

Date : Thursday, February 18, 1993

Class : 2-C, Wada Junior High School, Suginami Ward, Tokyo

Text : Lesson 12 (1)-(4), New Crown English Series Book 2

Allotment :

1st period : Comparatives of adverbs

2nd period : Superatives of adverbs

3rd period (Today's lesson) : To grasp the gist of the whole story

4th period : Reading of § 1 and 2

Teaching Procedure :

Procedure	Students' Activities
1 Greeting Casual Conversation	Greet with the T. Answer T's questions.
2 Warm Up Bingo Game (Adjective Bingo)	Play the game. Shout 'BINGO!' when a line has been completed. Put up their hands. Write down both his/her own score and his/her partner's one.
3 Warm Up Karaoke	'Today's Singers' come to the front of the room. Sing along with karaoke.
4 Review Paced Reading Shadowing	Read p.73 of the textbook simultaneously along with the CD. (with the books open) Follow the CD's voice trying not to look at the textbooks.
5 Review Role-playing (Fixed Pair Work)	Make pairs and decide who to be Dog and Cat. Start role-playing. Change roles.

5th period : Reading of § 3 and 4

6th and 7th period : Writing Japanese folktales in English .

Aims of this period :

- 1 To help students grab the gist of the whole story
- 2 To revise the comparatives and superlatives of adjectives through a fun activity .

Teaching Aids : LD player , Monitor TV , CD repeater , VTR , word cards ,
work sheets , audio tape

Evaluation :

A . . . Attitude

E . . . Expression

U . . . Understanding

LC . . . Language/Culture

Teacher's Help/Guide	Remarks/Evaluation
<p>Greets students . Asks students about the 'ski school' .</p>	<p><u>A</u>/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u> T nominates several Ss</p>
<p>Makes sentences improvisingly using words in each column . Declares the winner . Asks how many bingos they have got .</p>	<p>A/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u> T tries to make sentences as quickly as possible .</p>
<p>Plays the LD . Sings along with karaoke . (Top Of The World)</p>	<p>A/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u> T praises Ss' voices .</p>
<p>Plays the CD . Plays the CD again . Puts enough pause between the sentences so that Ss can follow them .</p>	<p>A/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u></p>
<p>Distributes role cards . Monitors the language used during the work . Helps each pair . (especially slower pairs .)</p>	<p><u>A</u>/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u> T evaluates Ss using other language items learned before .</p>

Procedure	Students' Activities
<p>6 Introduction of New Materials</p> <p>Top Down Listening</p>	<p>Listen to T and understand what they are going to do .</p> <p>Listen to an audio tape and guess what language is spoken in it .</p> <p>Listen to the CD and answer Question No . 1 & 2 . (First Listening Stage)</p> <p>Say "Stop!" when they don't know the meaning of any word .</p> <p>Try to understand the meaning of words with a help of T's gestures or Japanese traslation .</p> <p>Watch the VTR with the work sheet turned over .</p> <p>Answer Question No . 3 . (Second Listening Stage)</p> <p>Listen to the sound of the VTR and fill in the blanks of Question 4 with appropriate words . (Third Listening Stage)</p> <p>Check their answers with T .</p>
<p>7 Review of Comparative and Superative</p> <p>Group Work</p> <p>Game "Who's the criminal?"</p>	<p>Ss make groups and each group chooses a leader .</p> <p>Group members go to seven places , get informa- tion and report it to each leader . Each leader takes a memo while hearing the information and identifies the criminal .</p> <p>After the leader finds the criminal , he/she must write a report to T .</p> <p>Play another round if time allows .</p>
<p>8 Assignment and Greeting</p>	<p>Listen to T and take a memo .</p> <p>Greet .</p>

Teacher's Help/Guide	Remarks/Evaluation
<p>Talks about Japanese old folktales and tells Ss what they are going to listen is our neighbouring country's story .</p> <p>Plays the audio tape in which a Korean student reads the story in her own language .</p> <p>Asks Ss what language is spoken in it .</p> <p>Distributes the worksheets and explains how to work on them .</p> <p>Plays the CD . (for First Listening)</p> <p>Shows the 'so-called' new words of the lesson to Ss . Shows the other side of the card when anyone of Ss says , "Stop!" Or reminds Ss of the meaning of the word by using gestures .</p> <p>Plays the VTR . (for Second Listening)</p> <p>Monitors Ss' individual work .</p> <p>Plays the VTR . (for Third Listening)</p> <p>Tells Ss correct answers .</p>	<p><u>A/E/U/LC</u></p> <p>Ss should not hesitate to say "Stop" , though some of the words were already learned .</p> <p>Ss take a memo while watching the video .</p>
<p>Explains how to play the game .</p> <p>Gives each leader a written clue .</p> <p>Reads reports and declares the winning team . (Reports must be grammatically correct!)</p>	<p>This is the second time for Ss to play this game . T should mention the previous troubles and how to overcome them .</p>
<p>Talks about next lesson and homework .</p> <p>Greets .</p>	

授業3：指導案

この指導案は現在データ化作業中です。ここでは省略しています。

授業4：指導過程

	時	指導過程	教師の指導
復		あいさつ	英語であいさつをする。
	5	BINGO GAME	単語を読み上げ聞き取らせる。/ゲームは2回行う
習		教科書を読む	本文の音読(全体/個人/ペア)練習をする。 会話部分については、段階をおった会話練習を行わせ
	5		
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を 重 視 し た 活 動	5	PAIR WORK GAME	シートを配布する。/今回使用する語彙に注目させる /基本文、語彙の口頭練習を行う。/シートに記入させる。 /ゲームを行う。
	15	SKIT 練習 (全体練習)	前時までの教材(教科書、会話や ORAL PRACTICE 等) をもとにして、SKIT のモデルをまとめる。 SKIT の練習(モデルを提示/発音、音声指導)
	10	SKIT 練習 (ペア練習)	ペアで練習/発表させる モデルを手直しして、自分たちの発想でスキットをつくらせる。 ペアで練習させ、発表させる。
ま と め		SKIT 練習のまとめ	今後の SKIT 練習のためのポイントを説明する。
		英語の歌	英語の歌を練習する。
	10	あいさつ	英語であいさつをする。

▪ 評価の観点 1 英語を楽しく使い表現しようという意欲的なとりくみが見られたか

生徒の活動	指導上の留意点
大きな声で元気良くあいさつする	
単語を聞き取りシートに記入し、ゲームを行う	決まり文句も、はっきりと大きな声で言えるように指導したい。
モデルをしっかり聞いて、はっきりと大きな声で練習する 個人/ペアの練習は、集中して徹底的に音読する	自信を持って読めるようになるまで練習させる。
シートを読み語彙と英文に注目する / 大きな声で口頭練習する / リピートと文形変化の練習 / できるだけ英語だけを用いてゲームを行う	効果音楽を使用する。 ポイントを記録させ楽しく参加させる
話題に注目し、口頭練習に積極的に参加する。 モデルをよく視聴し、できるだけモデルに近いスキットができるように練習する。	活発な雰囲気作りをめざし、教材・教具にも工夫したい。
ペアで練習し、積極的に発表する。 身近な語彙を用いて、自分たちらしいSKITを工夫し練習 / 発表する。	一部の単語を入れ替えるだけでも十分に表現力が高まることを指導する。
SKITの仕上げのポイントを確認する。	ニュアンスの理解に重点を
歌の雰囲気を味わいながら、楽しく歌う	授業のしめくりにふさわしい雰囲気をもたせたい。
大きな声ではっきりとあいさつする	

2 現在進行形を用いた表現に慣れ、理解できたか。

授業過程	生徒の活動	教師の働きかけ	注意点
<p>1 あいさつ 日常会話 (5分)</p>	<p>あいさつをする 元気かどうか答える 先生はどうか聞く 指名された生徒答える 天気、曜日、日付を聞く 手を上げて答える 何人かが質問する</p>	<p>あいさつをする 今日の調子はどうか聞く 緊張していると答え、君はどうかと聞く 天気、曜日、日付を聞くように言う わざとまちがえ、再度聞く 先生に質問するように言う その質問に答える</p>	
<p>2 ビンゴ (5分)</p>	<p>その単語をチェックする 1本揃ったら「ビンゴ」と言う その本数で手を上げる</p>	<p>単語を読み上げる 7回読み上げて終わる 何本揃ったか手を上げさせる</p>	<p>最初と最高本数の生徒にシールをあげる</p>
<p>3 復習 ペアワーク (5分)</p>	<p>その絵の単語を練習する 手を上げて質問し当てる 洋服、家、靴、テレビ、CDの中で自分が欲しい物を1つ選ぶ 相手の選んだ物を当てるまで交互に質問しあう 終了後、座る 自己評価し紙を集める</p>	<p>洋服、家、靴、テレビ、CDを絵を使って言わせる その中で先生がほしい物を当てるように言う ワークシートを配布する 洋服、家、靴、テレビ、CDの中で欲しい物を1つ選ぶように言う 隣の人とペアを組み、相手の選んだ物を当てさせる 立ち上がり、3ゲームを終えたペアは座るように言う ペアワークの自己評価をするように言い、紙を集める</p>	<p>当てた生徒の班に得点を与える</p>
<p>4 カラオケ (3分)</p>	<p>「Sing」を立てて歌う 自分の席に座る</p>	<p>立ち上がり、ビデオに合わせて歌うように言う 終了後、座るように言う</p>	

<p>5 導入 (5分)</p>	<p>指名された生徒はどれが欲しいかを答える</p> <p>質問に答える</p>	<p>洋服、家、靴、CD、テレビのうちどれが欲しいかをたずねる</p> <p>その生徒が欲しい物を他の生徒にたずねる</p>	
<p>6 グループ・ワーク 「調査隊が行く」 (25分)</p>	<p>自分の欲しい物を書く</p> <p>自分の班員に質問し自分も答える</p> <p>終了後、座る</p> <p>各自が予想して書く</p> <p>英語で分担を決める</p> <p>終了後、座る</p> <p>質問に行く</p> <p>終了後、自分の席に戻る</p> <p>班員にそれぞれが報告する</p> <p>調査結果を集計する</p> <p>何人の男女が何を欲しいかを答える</p> <p>各自の得点を計算する</p> <p>班長が計算し、結果を報告する</p> <p>自己評価し、集める</p> <p>あいさつする</p>	<p>洋服、家、靴、CD、テレビのうち、このクラスの男子女子が一番欲しい物は何かを調査することを言う</p> <p>まず、自分が欲しい物を書くように言う</p> <p>自分の班員に質問するように言う</p> <p>立ち上がり、終わった班から座るように言う</p> <p>今の結果を参考に、このクラスの男・女の一番欲しい物を予想して書かせる</p> <p>誰が他の5つの班に質問に行くかを班内で分担する</p> <p>立ち上がり終わった班から座るように言う</p> <p>他の班へ質問に行き終わったら自分の席に戻るように言う</p> <p>質問の結果を班員に報告するように言う</p> <p>報告後、調査結果を集計するように言う</p> <p>男女が一番欲しい物を聞く</p> <p>予想が当たった人は1につき2点得点であると言う</p> <p>班長が班の得点を計算し、手を上げて結果を報告するように言う</p> <p>自己評価の紙を配る</p> <p>紙を集めるように言う</p> <p>あいさつして終わる</p>	<p>当たれば班の得点になる</p>
<p>7 あいさつ (2分)</p>			

Procedure	生徒の動き	教師の働きかけ	機能
1. Greeting	立ち上がる。 座る。	挨拶する。 着席させる。	4(1) 3(5)
2. Casual Conversation	手を挙げる。	スキー教室の話題について質問する。 挙手させる。	2(3) 2(7)
3. Bingo	手を挙げる。	ビンゴをやるかと誘う。 大きな声で、と言う。 ビンゴ完成本数を問う。 たくさんできた生徒をほめる	3(1) 3(5) 3(2) 2(3)
4. Karaoke	歌う。	歌おうと呼びかける。 歌ったことに感謝する。	3(3) 2(6)
5. Paced Reading	テープに合わせて音読する。	もう一度やろうと言う。	1(1) 3(5)
6. Shadowing	本を見ないでテープを聞いてすぐ言う。	本を見てもよいができるだけ見ないでやるように言う。	1(6) 3(5)
7. Role-Play	机を移動してペアを作り ロールプレイを始める。	ペアを作らせる。 役割分担をさせる。席を替わらせる。 本を見ないよう指示する。机を戻させる。	3(5)
8. Top Down Listening	先生の話聞く。 テープを聞く。 何語か推量する。 答える。 聞こえた単語に をつける。 絵を並べ替える。 立つ。	教科書を開かないように指示する ワークシートを配り忘れたことに気がつく。 テープを聞かせようとする。 (テープレコーダーが動かなかったので動揺する。) 聞き取り上の注意をする。 テープを聞かせる。 意図的に韓国語のテープを流し、生徒の反応を見る。) 何語のテープか考えさせる。 何語か、問う。 英語のテープを聞かせる。 並べ替えができた生徒から立たせ	1(2) 3(5) 2(5) 1(5) 2(11) 2(10) 2(9) 3(5) 1(1) 4(4) 2(3) 1(2) 2(5) 1(6)

<p>新出語の導入</p>	<p>座る。 意味のわからない語に対して stop と言う。 ワークシートを裏返す。 ビデオを見る。 ワークシートの Q 2 を見る / 答える。 終わったら机を左に 90 ° 向ける。 友人と答合わせをする。</p> <p>机を元に戻す。</p> <p>手を挙げる。</p>	<p>る。座らせる。 新出語の意味を確認する。 stop と言われた語の説明をする。 ワークシートを裏返させる。 ビデオを流す。 ワークシートを見るように言う。</p> <p>終わったら机を 90 ° 左へ向けるように言う。 友達どうして答合わせをするように言う。 机を元に戻させる。 Q 1 の答合わせをする。 Q 1 でいくつ をしそこなったかを聞く。 並べ替えの答合わせをする。</p>	
<p>9. 犯人は誰だゲーム</p>	<p>答える。 小グループに分かれる。</p> <p>答を言う。 捜査班長を決める。 捜査班長は前に出てプリントをもらう。</p> <p>班員は情報収集をする。</p> <p>班長は前に出て犯人のヒントを聞く。 班員は集めた情報を班長に報告する。 班長は必要な情報のみ受け入れ、ヒントをもとに犯人を割り出す。 班長は犯人を報告書にまとめて教師に提出する。 出する。</p>	<p>ゲームをやろうかと聞く。 グループを作らせる。 Q 2 の答合わせを忘れたので謝る</p> <p>Q 2 の答合わせをする。 捜査班長を決めさせる。 捜査班長にプリントを渡す。</p> <p>ゲームの注意をする。</p> <p>班長を集めてヒントを与える</p> <p>報告書をチェックする。</p> <p>トップのグループを祝福する</p>	<p>2(7) 2(11) 1(2) 2(5) 2(10) 3(5) 1(8) 2(6) 2(3) 3(4) 1(6) 4(4) 4(5)</p>
<p>10. Assignment</p>	<p>聞く。</p>	<p>宿題と次時の予告をする。</p>	<p>1(2) 3(5)</p>
<p>11. Greeting</p>	<p>挨拶する。</p>	<p>後に A E T のホール先生がいることをおしえる。 挨拶する。</p>	<p>2(3) 1(2) 4(2)</p>

Student Talk	Function
<p>(Stand up .)</p> <p>Good afternoon , Mr . Kitahara . I'm fine . Thank you . How are you?</p> <p>(Sit down .)</p> <p>Nakamura : To Sugadaira .</p> <p>Yoshida : Ski . Yoshida : Skiing .</p> <p>Saito : Yes . Saito : No .</p> <p>(Put up their hands .)</p> <p>(Put up their hands .) (Put up their hands .)</p> <p>Itakura : Yes .</p> <p>Yes . Bingo One . Keiyoushi Bingo One .</p> <p>Yes .</p>	

Procedure	Teacher Talk	Function
4 Karaoke	<p>G : How old are you? B : My legs are not short. I : Don't be sad. N : Who is great? G : The paper is thin. O : The bench is wet. B : How long is the bridge? I : Are you busy today? N : I'm shy. G : What a strong boy you are! O : It's not dark here. B : It's a cool day. I : ... Oh, number one, Kobayashi-kun. New York is a big apple. N : How kind you are! G : He is very young. O : What a high mountain! B : How tall you are! I : Are you happy, Eto? G : That's my weak point. O : Take it easy. B : Oh, it's hot. I : What a large country? N : I'm glad to see you. G : Don't be stupid. O : That's a bright star. Finished.</p>	2 (3)
	<p>OK. Another Bingo. B : 冷たい、寒い I : ゆっくりとした、遅い N : 哀れな、貧しい G : おろかな O : 少ない B : 長い I : 忙しい N : 具合の悪い、病気の G : 年取った、古い O : 乾いた B : 短い I : 小さい N : 嬉しい G : 弱い O : 暗い B : 背が高い I : 悲しい N : 恥ずかしがり屋の G : 若い O : 高い</p>	3 (5)
	<p>Number one!</p>	2 (3)
	<p>I can't hear you say Bingo.</p>	3 (2)
	<p>Please, say Bingo in a loud voice. OK?</p>	3 (2)
	<p>B : 早い I : 怒った N : 偉大な、素晴らしい G : 薄い、痩せた O : 簡単な B : あったかい I : 嬉しい、楽しい N : 裕福な、金持ちの G : 強い O : 新しい</p>	
	<p>Very good.</p>	2 (2)
	<p>That's it.</p>	
	<p>How many bingos have you got?</p>	
	<p>No bingo? One? Two? Three? Four? Five?</p>	
	<p>Very good.</p>	2 (3)
	<p>Six? Excellent.</p>	2 (3)
	<p>Seven? Eight? Nine?</p>	
	<p>More than ten? OK. How many?</p>	
	<p>Ten. Very good.</p>	2 (3)
<p>What about you?</p>		
<p>Ten. Very good.</p>	2 (3)	
<p>OK.</p>		
<p>Let's sing a song.</p>	3 (3)	
<p>Oh, no. This is not...</p>	2 (10)	

Student Talk	Function
Kobayashi : Bingo!	
Someone : Bingo!	
Ten .	

Procedure	Teacher Talk	Function
5 Paced Reading	Such a feelings coming over me . There is wonder . . . Not a loud . . . Very good . Sorry . And I . . . Everything . . . Is now . . . And the reason . . .	2 (3) 2 (5)
	Is the . . .	
	Something in the wind . . . And it's telling me . . . In the leaves . . .	
	There's a pleasin' sense of happiness for me There is only one wish . . . When this day . . .	
	That tomorrow . . . All I need will be mine if you're here	
	Is the love . . .	
	OK. Saito-kun .	3 (3)
	Oh, excuse me .	2 (5)
	OK. Thank you very much for singing .	2 (6)
	OK. Let's review the previous lesson .	3 (1)
	Open your books to page 73 .	3 (5)
	OK? Paced reading .	
	Are you ready? OK. Let's go . (Plays CD .)	3 (1)

Student Talk	Function
<p>Such a feelings coming over me There is wonder in most everything I see Not a cloud in the sky , got the sun in my eyes</p> <p>And I won't be surprised if it's a dream Everything I want the world to be Is now coming true especially for me And the reason is clear , it's because you're here You're the nearest thing to heaven tha I've seen I'm on the top of the world looking down on creation And the only explanation I can find Is the love that I've found ever since you've been around</p> <p>Your love's put me at the top of the world Something in the wind has learned my name And it's telling me that things are not the same In the leaves on the trees and the touch of the breeze</p> <p>There's a pleasin' sense of happiness for me There is only one wish on my mind When this day is through , I hope that I will find</p> <p>That tomorrow will be just the same for you and me All I need will be mine if you're here I'm on the top of the world looking down on creation And the only explanation I can find Is the love that I've found ever since you've been around</p> <p>Your love's put me at the top of the world I'm on the top of the world looking down on creation And the only explanation I can find Is the love that I've found ever since you've been around</p> <p>Your love's put me at the top of the world</p> <p>(Open their books .)</p> <p>Yes .</p> <p>(Read the passage together with the CD .)</p>	

Procedure	Teacher Talk	Function
6 Shadowing	Once again . Try again .	3 (5)
	Go .	3 (5)
	(Plays CD .)	
	I don't think your voice is loud enough .	1 (1)
	Speak up , please . All right?	3 (5)
	OK . This time try not to look at your textbooks .	3 (5)
	Shadowing . All right?	
	You can look at your textbooks ,	1 (6)
	but try not to look at your textbooks .	3 (5)
	OK . Let's go .	3 (1)
7 Role-playing	OK . Very good .	2 (3)
	Now , make pairs .	3 (5)
	Make pairs .	
	Usual pairs , please .	3 (5)
	OK . Role-play , role-playing .	
	Decide who is to be Dog and who is to be Cat . OK	3 (5)
	OK . Start role-playing .	3 (5)

Student Talk	Function
<p>The other day my master called all the family together. He showed them pictures of two dogs, and said, "We'll find a bride for our dog. Which is better, this one or that one?" After a long discussion they decided. But I really wanted to say, "Why don't you ask me? I have a right to say something about this."</p> <p>(Read the passage together with the CD.)</p> <p>The other day my master called all the family together. He showed them pictures of two dogs, and said, "We'll find a bride for our dog. Which is better, this one or that one?" After a long discussion they decided. But I really wanted to say, "Why don't you ask me? I have a right to say something about this."</p> <p>(Make pairs.)</p> <p>Dog : The other day my master called all the family together.</p> <p>Cat : And what did he do?</p> <p>Dog : He showed them pictures of two dogs.</p> <p>Cat : Why?</p> <p>Dog : To find a bride for me.</p> <p>Cat : A bride for you?</p> <p>Dog : Yes. After a long discussion they decided.</p> <p>Cat : Really? I can't believe that.</p> <p>Dog : I can't believe that, either. You will be my bride, won't you?</p>	

Procedure	Teacher Talk	Function
<p>8 Top Down Listening</p>	OK. Change seats .	3 (5)
	Change seats when you finish .	3 (5)
	Something about this . Finished?	
	Change seats .	3 (5)
	Try not to look at your textbooks .	3 (5)
	Try not to look at your textbooks .	
	Your turn .	3 (5)
	All finished?	
	All right .	
	Now today we are going to study a story .	1 (2)
	A story in Lesson 12.	
	I don't want you to open your textbooks , please .	3 (5)
	I don't want you to open your textbooks , please .	
	Here is a tape .	
	Now listen to it , please . OK?	3 (5)
	Ah , sorry , I forgot .	2 (5)
	I have to give you this paper .	1 (5)
	OK . Top Down Listening . All right?	
	OK . Let's listen to the tape .	3 (5)
	See what happens .	3 (5)
	(Plays the tape .)	
	Strange .	2 (11)
	Nothing happens .	2 (10)
	Nothing happens .	2 (9)
	It doesn't work!	2 (10)
	Give me some time .	1 (6)
Today we are going to listen three times .	1 (2)	
Three times .		
In the first listening , please look at Question	3 (5)	
No.1.		
Please don't look at Question No.2 and 3.	3 (5)	
OK? Please look at only No.1. Question No.1.	3 (5)	
And what you are going to do is to circle the		
words you hear . You have some words in a box .		
Please circle the words you hear . OK?	3 (5)	
Circle .		
Oh , I hear . I heard this . I heard this .		
Please circle the words .	3 (5)	
The same way as you did when you heard 'Mr. Bean'		
Do you remember 'Mr. Bean'? OK .		

Procedure	Teacher Talk	Function
	It should be all right .	1 (1)
	OK . Listen to the tape . (Plays the tape .)	3 (5)
	Ah?	4 (4)
	Was it the right tape?	4 (4)
	I'm not sure .	1 (1)
	What's this?	4 (4)
	Is this English?	
	Which language do you think it is?	1 (1)
	Which language is this?	1 (1)
	Is it a language in Europe? Yes? No?	
	Is it a language in Africa?	
	No .	
	Is it a language in Asia?	
	Asia. アジア	
	Yes, yes .	2 (3)
	That's correct .	1 (1)
	You're right .	1 (1)
	It's a language of Asia . It's a language used in Asia . So which language is this?	
	What do you think , Abe-chan? Abe-san?	1 (1)
	What do you think?	1 (1)
	You have no idea? No?	1 (1)
	What about you?	1 (1)
	Korean? OK .	
	Who thinks it's Korean?	1 (1)
	Who thinks it's Korean? Hands up?	1 (1)
	What do you think , Takuji-kun?	1 (1)
	You have no idea? All right .	1 (1)
	Taichi-kun , what do you think?	1 (1)
	I don't know?	
	Once again .	1 (2)
	Who thinks it's Korean?	1 (1)
	It's the Korean language .	
	Hagihara-san , what do you think?	1 (1)
	Chinese . OK . Hagihara-san thinks it's Chinese .	
	Who thinks it's Chinese?	1 (1)
	OK . Let's listen again . (Plays the tape .)	3 (5)

Student Talk	Function
<p>No .</p> <p>No . No .</p> <p>Yes .</p> <p>Abe : No . Korean .</p> <p>Kobayashi : No .</p> <p>Suzuki : I don't know .</p> <p>Hagihara : Chinese .</p>	

Procedure	Teacher Talk	Function
	<p>It's the Korean language . Today you are going to listen to a Korean story . Korean folktake . Folktale . 昔話 or 民話 We Japanese , you Japanese have a lot of folktales For example . . . Ohtaka-kun? かぐや姫 or? 浦島太郎 Yes . We Japanese have a lot of , lots of folktales . 民話 or 昔話 So do Korean people . Korean people have their own folktales . So let's listen to the folktale .</p>	<p>1 (2)</p>
	<p>First you circle the words . And then you arrange the pictures . OK? Please write No.1, 2, 3, 5, 6, and 7. No. 4 is already written . No.4 is written So please write No.1, 2, 3, 5, 6, and 7. accord- ing the order 順番 order of the story . Let's go . (plays the CD .)</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>We move on to Section 2. OK . Section 3. Oh , sorry .</p>	<p>4 (4) 4 (4) 2 (5)</p>
	<p>OK? Now arrange the pictures . You have seven pictures . Please write 1, 2, 3... Which is the first picture? Which is the first picture? Yes , yes , yes . OK . Correct . You're right . OK . This is No.1. Which is next? Yes , yes . Good . Go ahead .</p>	<p>3 (5) 3 (5) 3 (5) 2 (3) 2 (3) 2 (3) 2 (3) 3 (5)</p>
	<p>Which is No. 1? The tiger attacked . . . They ran and ran . OK . When you finish , please stand up . Please stand up . When you finish , please stand up . I want to know who is finished or not . All right?</p>	<p>3 (5) 3 (5) 3 (5) 1 (2) 4 (4)</p>
	<p>No. 6 and 7 are very confusing. No.6 and 7. OK . 大体でいいよ。大体で。 勘でいいよ。 OK . Everybody , sit down . OK . Now you have some new words here . Some words</p>	<p>1 (6) 1 (6) 3 (5)</p>

Student Talk	Function
<p>Ohtaka : かぐや姫 浦島太郎</p> <p>(Listen to the CD .)</p> <p>(Arrange the pictures .)</p> <p>(Stand up .)</p>	

Student Talk	Function
Stop .	
Stop .	
Stop .	
Stop . Stop .	
Stop .	
Stop .	
Stop . Stop . Stop .	
Stop .	
Watch the video .)	

Procedure	Teacher Talk	Function
	Answer Question No.2.	3 (5)
	You have eight questions .	
	Please choose ア, イ or ウ.	3 (5)
	ちょっと読んでわからないところは飛ばしていいですよ。	1 (6)
	わからなかったら飛ばしていいです。	1 (6)
	OK. Very good.	2 (3)
	いいよ、いいよ。	2 (3)
	OK. When you finish , turn your desks to the left hand side .	3 (5)
	Turn your desks towards your left hand side .	3 (5)
	Check your answers with your friends . Check your answers with your friends .	3 (5)
	Check your answers . The last one? OK . The last one .	
	あっ、飛ばしていいのよ。	1 (6)
	飛ばして一応おわったらでいいからね。	1 (6)
	いいよ。	1 (6)
	OK. Put your desks back .	3 (5)
	Put your desks back .	3 (5)
	You can take your time .	1 (6)
	Take your time .	1 (6)
	Question No.3 に行きたいところですが、	1 (2)
	ちょっと時間の関係で 1 番 2 番の答合わせだけしましょう。	3 (5)
	No.1. え～と をしたのはいいかな。え～全部	
	するんですね、聞こえたのはね。全部 がつけてあれば問題ない。	
	Perfect?	
	Very good .	2 (3)
	Who missed one word?	
	Who missed two words?	
	Three words . ?	
	Under five words? Under five?	
	Under seven? Seven, six, five . . .	
	All right. じゃ 2 番の a 行こう。	3 (5)
	左から行きます。	3 (5)
	4 番。次は？隣は？困るね。1 番はトラが襲ってる絵	
	2 番はどれ？	
	逃げてる絵。逃げてる絵。	
	3 番。3 番は？木に登ってる。ちょっと絵がわかりずらいかな、これ。左下ですね。それから？	
	4 番。書いてある。5 番。ロープに登っている絵。	

Procedure	Teacher Talk	Function
	<p>6番。6番は？どっちだろう？6番は右下のところだな。boyが太陽になっているやつね。最後のこったのが7番です。はい、できた人、手をあげて。 全部できた人？ 6、7のところちょっと難しかったな。 あそこでひっかかった人？ じゃ、え～と、本当は3番やるんですけど... Are you tired? Are you tired? Hayashi-san, are you tired? Tired? Yes. Shinada-kun, are you tired? No, you are not. You are very tough. You are strong. Are you tired? Tired? No? So we won't play a game. We won't play a game. OK? We will not play a game. Do you want to play a game? Really? OK. So, 犯人は誰だ？ game. 'Who is the criminal?' game. Second time. Let's make groups. Let's make groups. Sorry. I forgot! A big mistake! I forgot to check Question No.2. No.1 When a woman was in the garden...the answer is... イ she was eaten by a tiger. ハイできた人？ Very good. ひっかからないでね。 ハイ No.2 After the tiger came into the house... ア the two children ran away. ア Please raise your hands. Good. No.3 The two children.. went up a tall tree. イ Very good. No.4 The tiger was able to...go up the tree. イ Not a rope, but a tree. No.5 The children wanted the god to... throw down a rope. イ OK. Very good. No.6 The children... went up the rope. ア Uede-kun, OK? 間違えた？ できてた。ハイ。</p>	<p>3 (5) 3 (5) 1 (1) 3 (5) 1 (2) 2 (7) 2 (7) 2 (7) 2 (7) 2 (11) 2 (11) 2 (7) 1 (2) 1 (2) 3 (1) 3 (5) 3 (5) 2 (5) 2 (10) 2 (10) 3 (5) 2 (3) 3 (4) 3 (5) 2 (3) 2 (3) 2 (3) 2 (3) 2 (3)</p>

Student Talk	Function
<p>(Put up their hands .) (Put up their hands .) (Put up their hands .)</p> <p>Hayashi : Yes . Shinada : No , I'm not .</p> <p>Someone : No .</p> <p>Yes .</p> <p>(Put up their hands .)</p> <p>(Put up their hands .)</p> <p>(Put up their hands .)</p> <p>(Put up their hands .)</p> <p>(Put up their hands .)</p> <p>(Put up their hands .) Uede : OK .</p>	

Procedure	Teacher Talk	Function
<p>9 Group Work</p> <p>犯人は誰だ</p> <p>ゲーム</p>	<p>No.7 When the children reached the heaven, the god wanted the boy to be...どっち?ア?イ? ア</p>	<p>2 (3)</p>
	<p>OK. Very good. No.8 The girl didn't want to be the moon, because...she didn't want to go out in the dark. イ Okawa-kun, no?</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>OK. We have six groups.</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>Take out the game sheet.</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>And who are the bosses? Bosses?</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>Let's change the bosses.</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>Decide who is to be Boss.</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>Please choose a boss.</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>捜査班長。前回の人はやめようね。</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>Boss, come up here.</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>Bosses, will come up here?</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>Bosses! New sheet. New sheet.</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>Here you are.</p>	<p>1 (8)</p>
	<p>You are welcome.</p>	<p>2 (6)</p>
	<p>ハイ、前は最上級ばかり使ってるグループがありましたね。3人しかいないんでね、2回最上級を使えば答は出ちゃうだけけど、最上級は1回だけにしましよ。いい? 誰誰 is the oldest.とか最上級は1回だけにしよう。あとは比較級をなるべく使っていこう。いいですか。</p>	<p>3 (5)</p> <p>3 (4)</p>
	<p>Everybody, look up, please.</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>へそ!</p>	<p>3 (5)</p>
	<p>You see, Information 1 is over there. Information 2, over there. 3, 4, and this way, the other side, 5, 6 and 7.</p>	<p>1 (6)</p>
<p>You can walk around, but you must say something when you cross the teachers.</p>	<p>3 (5)</p>	
<p>What do you say?</p>	<p>3 (5)</p>	
<p>Who said, "Excuse me."? You?</p>	<p>3 (5)</p>	
<p>Yes. You say, "Excuse me." when you cross the teachers.</p>	<p>3 (5)</p>	
<p>Don't do this.</p>	<p>3 (5)</p>	
<p>"Excuse me." "Excuse me." This is etiquette.</p>	<p>3 (4)</p>	
<p>Ready? OK. Go.</p>	<p>3 (5)</p>	
<p>Bosses. I'll give you a very important piece of information.</p>	<p>1 (2)</p>	
<p>Bosses, come to me. Bosses, please.</p>	<p>3 (5)</p>	
<p>Very important information. Hint.</p>	<p>3 (5)</p>	

Student Talk	Function
<p data-bbox="112 761 378 788">Someone : Thank you .</p> <p data-bbox="112 1302 378 1329">Someone : Excuse me .</p> <p data-bbox="112 1503 518 1530">(Stand up and go for information .)</p> <p data-bbox="112 1638 463 1665">(Bosses go up to the teacher .)</p>	

Procedure	Teacher Talk	unction
	<p>Hello there!</p> <p>Hayashi-san?</p> <p>Nakamura-san?</p> <p>I'll give you a hint .</p> <p>The criminal is not as . . .</p> <p>Don't take a memo .</p> <p>Don't take a memo . The criminal is not as old as Jin-nosuke and he has the shortest hair .</p> <p>The criminal is not as old as Jin-nosuke and he has the shortest hair .</p> <p>Go .</p> <p>Please write a report to me .</p> <p>The report must be grammatically correct .</p> <p>Are you writing? You are waiting for information Finished? OK .</p> <p>OK . Finished .</p> <p>Congratulations .</p> <p>Congratulations .</p> <p>That group .</p> <p>OK , everybody , put your desks back .</p>	<p>4 (4)</p> <p>4 (4)</p> <p>4 (4)</p> <p>1 (2)</p> <p></p> <p>3 (5)</p> <p>3 (5)</p> <p></p> <p>3 (5)</p> <p>3 (5)</p> <p>3 (4)</p> <p></p> <p></p> <p>4 (5)</p> <p>4 (5)</p> <p></p> <p>3 (5)</p>
10 Assignment	<p>今日の宿題は、え～と本当は3番を答合わせをしてることが宿題だったんですけど、できませんので今度次回ね、3番リスニングやりますので教科書は見て来ないでください。</p> <p>え～では、ドリルブックの最後の2ページ、これやっというね。いいですか。</p> <p>最後の2ページを次回までにやっておく。</p>	<p>1 (2)</p> <p>3 (5)</p> <p>3 (5)</p>
11 Greeting	<p>Hi , everybody , you did very well .</p> <p>Let's finish .</p> <p>Good-bye , everybody .</p> <p>Again . Good-bye , everybody .</p> <p>OK . Oh!</p> <p>Look back .</p> <p>Mr . Hall is there .</p>	<p>3 (5)</p> <p>2 (3)</p> <p>1 (2)</p> <p>4 (2)</p> <p>4 (2)</p> <p>2 (11)</p> <p>3 (5)</p>

Student Talk	Function
<p>Good-bye , Mr . Kitahara . Good-bye , Mr . Kitahara .</p> <p>Good-bye , Mr . Hall .</p>	

(8) 今後の課題

研究部員 5 人の授業における Teacher Talk を script として書き出し、意志・感情等にかかわる言語機能別に分析した結果、次の事柄が明らかになった。

全体を通じて使用頻度の高い言語機能は [3.5 directing others to do or not to do something & reacting to it (人にあることをする / しないように命じる / それに応える)] である。

次に使用頻度の高い言語機能は [2.3 expressing compliments, praises, approval, appreciation, or admiration (賛辞 / 称賛 / 同意 / 理解 / 尊敬を述べる)] である。この機能は授業内では、主に指導の結果に対する評価としてとらえることができる。授業形態によって [2.1 expressing & inquiring about liking, disliking, interest, or lack of interest (好き嫌い / 興味の有無について述べる / 尋ねる)] と [2.2 expressing pleasure, displeasure, satisfaction, or dissatisfaction (喜び / 不快 / 満足 / 不満足を述べる)] の言語機能の使用頻度が高くなっている。

今後、上記の事項が授業の改善によって、どのように変容して行くか。更に、授業実践研究を重ねる必要がある。

また、それらの授業の中で使用された語彙については、東京都中学校英語教育研究会究部による下記の先行研究との関わりの中で更に研究を深めねばならない。

- 「外来語と英語教育 (1) 」 (小学校高学年教科書に現れた外来語リスト)
- 「外来語と英語教育 (2) 」 (中学校英語教科書に現れた外来語リスト)
- 「外来語と英語教育 (3) 」 (外来語の強制付加によっておこる変化)
- 「外来語と英語教育 (4) 」 (英語の意味別頻度と外来語・英語の意味とのかさなり)
- 「外来語と英語教育 (5) 」 (フォニックス(つづり字と発音のルール))
- 「外来語と英語教育 (6) 」 (選定語いについて)
- 「語いと英語教育 (7) 」 (選定語い(2)・発表語い(1))
- 「語いと英語教育 (8) 」 (発表語い(2)・生徒の立場から見た・教師の立場から見た)
- 「語いと英語教育 (9) 」 (「英語基本語い 1000 語」と「補足 460 語・外来語 (英語) 400 語」・言葉遊びを取り入れての指導実践例)
- 「語いと英語教育 (10) 」 (A. 英語・基本語い 1000 語・Appendices B. 授業の中でどのように語いをふやすか C. Communicative Language Teaching (CLT) について)
- 「語いと英語教育 (11) 」 (A. 基本語いの定着化 B. CLT と Communicative Functions(CF) について C. AET に関するアンケート調査のまとめ)
- 「語いと英語教育 (12) 」 (A. NHK ラジオ続基礎英語の dialogs に現れる伝達機能とその言語形式 B. 日常の授業で活用できる伝達機能とその言語形式)
- 「語いと英語教育 (13) 」 (CLT と CF について東京都公立中学校で使用されている 4 種類の教科書に現れる Functions (言語機能) / 例文の List)
- 「語いと英語教育 (14) 」 (A. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式(続) B. 東京都公立中学校における英語教育実態調査報告)
- 「語いと英語教育 (15) 」 (日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式(続々))
- 「語いと英語教育 (16) 」 (1. Teacher Talk 2. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式)

.参考文献

- **Byrne, Donn** *Techniques for Classroom Interaction*
(1987.Longman)
- **Chaudron, Craig** *Second Language Classrooms*
(1988.Cambridge)
- **Ellis, Rod** *Understanding Second Language Aquisition*
(1989.Oxford University Press)
- **Gains, Ruth and Redman, Stuart** *Working with Words*
(1990.Cambridge University Press)
- **Hidai, Shigeyuki** *A study of Techniques for Teaching Vocabulary
in a Lower Secondary School*
(1991.the University of Nottingham)
- **Hughes, Glyn S.** *A Handbook of Classroom English*
(1981.Oxford University Press)
- **Kitahara, Nobuaki** *A study on Pair Work and Group Work*
(1989. University of Exeter)
- **Krashen & Terrell** *The Natural Approach*
(1985.Pergamon / Alemany)
- **Kitashima, Mary & 奥田 夏子** 『楽しい教室英語』
(1961.大修館書店)
- 松香フォニックス研究所 『40時間でフォニックス』
(1988.松香フォニックス研究所)
- **Norman, Levin & Hedenquist** *Communicative Ideas*
(1986.Langauge Teaching Publications)
- **Sinclair, J. McH. & Brazil, D.** *Teacher Talk*
(1982. Oxford University Press)
- 高梨 庸雄 他 『教室英語活用事典』
(1992.研究社出版)
- 東京都中学校英語教育研究会・研究部、 『外来語と英語教育(1)～(7)』
(1977 - 1984)
- 東京都中学校英語教育研究会・研究部、 『外来語と英語教育(8)～(16)』
(1985 - 1991)
- 梅田 修 他 『学習者中心の教室英語』
(1989.大修館書店)
- **Willis, Jane** *Teaching English through English*
(1991.Longman)

・編集後記

今年度は、研究部員5人の授業をビデオに撮ったものを見ながら、その授業の中で使われている Teacher Talk を書き出した。それらの Teacher Talk について検討し、【意志を伴う機能、感情を伴う機能、相手の行為に影響を与える機能、挨拶など社交上の機能】に関する Teacher Talk を拾い出し、部員全員で検討及び分析した。3年生の担任をしている部員が多かったことと11月には関東甲信地区中学校英語教育研究協議会東京大会での研究部の発表が控えていたので、時間のかかる作業は夏休み中に済ませた。従って、2学期は比較的落ち着いて取り組むことができた。しかし、最後の追込みは例年と変わらない忙しさであった。1月7日は朝9時から両国中に集まり、夜の7時までコンピュータ5台をフルに回転させて、研究紀要の編集作成にあたった。この研究紀要は、まさに、部員一人一人が意欲的に取り組んだ成果と言える。

今年度も、ご指導、ご助言をいただき、レポート作成にあたってお力添えをいただきました隅部直光先生、塩澤利雄先生、島岡 丘先生、斉藤誠毅先生、青木昭六先生、上田明子先生、若林俊輔先生、金谷 憲先生、福田大昭先生、森永 誠先生、石津谷 進先生、萩野浩先生、安原修三先生、木村松雄先生方に心から感謝とお礼を申し上げます。また、研究紀要発行等いろいろな面で中英研の今本三郎会長ほか役員の皆様には格段のご配慮をいただき、有難うございました。そして、夜遅くまで、また、年末、年始の休みも返上して調査研究、コンピュータでの資料整理、原稿執筆等に当たった研究員の皆さん、本当にご苦労さまでした。また来年度も頑張りましょう。

1994.2.18
研究部長 長 勝彦

本研究に携わった研究員 (東京都中学校英語教育研究会研究部)

長 勝彦 (墨田区立両国中学校)	野口 弘子 (多摩市立東愛宕中学校)
鬼山由美子 (江戸川区立南葛西中学校)	備里川正人 (足立区立足立第十四中学校)
原田 博子 (足立区立足立第十四中学校)	北原 延晃 (杉並区立和田中学校)
日躰 滋之 (杉並区立中瀬中学校)	二宮 正男 (狛江市立狛江第一中学校)
鶴田 峰子 (台東区立下谷中学校)	三浦 邦彦 (足立区立足立第三中学校)
阿久津仁史 (三鷹市立第四中学校)	市川きみ子 (渋谷区立原宿中学校)
吉岡千恵子 (大田区立大森第三中学校)	横山 牧子 (立川市立立川第二中学校)
福井 洋子 (多摩市立豊ヶ丘中学校)	米田 隆 (板橋区立板橋第四中学校)
古川 泰子 (北区立桜田中学校)	杉本 薫 (墨田区立両国中学校)
滝之入道隆 (中央区立佃中学校)	石井 享 (墨田区立錦糸中学校)
伊東 一 (足立区立西新井中学校)	